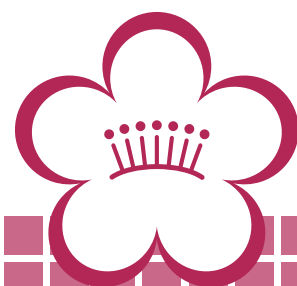


白梅学園大学・白梅学園短期大学 地域交流研究センター 公開講座

2017年9月～2018年2月



ご挨拶

白梅学園大学は21世紀を迎えて、いち早く「子ども学部」を立ち上げ、保育や教育、心理、福祉を子ども学の視点からとらえることに取り組んできました。そして、その成果を様々な講座として地域や社会に発信してきました。

従来、本学の教育・福祉研究センターが主催していた公開講座を今年度より、地域交流研究センターが主催となることで、より地域や社会との連携をすすめることをめざした講座を設定しています。

白梅学園の理念として「ヒューマニズム」を掲げていますが、すべての学科がその対象を人間としており、今年度の講座も、人間の生涯発達の視点から、原則と同時に新たな知己を取り入れ、学び豊かなものをめざしています。

また、ただ話を聞くだけでなく、参加者からの発信を頂くことによって、より創造的な講座になると期待しています。

日本の保育や教育、あるいは心理、福祉をめぐる状況は、決して安心して見ていられるような状況ではありませんが、様々な可能性を秘めています。今回の講座を通じてその一つでも明らかにできたら幸いです。

白梅学園大学 白梅学園短期大学
地域交流研究センター長

瀧口 優 (保育科教授)



地域交流研究センターの取り組み

白梅学園大学 白梅学園短期大学地域交流研究センター（以下、センター）は2009年度に附属幼稚園の建替えに伴い、地域交流を研究的にすすめることをめざして設立されました。

附属幼稚園を拠点としたセンターの取り組みは、平成21年度から5年間、文部科学省 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「遊びと学びのコラボレーションによる地域交流活性化システムづくりに関する研究—大学幼稚園を拠点として—」として採択され、5つのプロジェクトを通して、地域交流のシステムづくりを進めてきました。2014年度からは、3つのプロジェクトに整理し、研究活動を行っています。

また、附属幼稚園内には発達・教育相談室を設置し、大学周辺地域にある園や学校の先生、保護者の方の発達・教育相談に応じています。

2016年度より、子育て広場と小平西地区地域ネットワーク、2017年度からは小平市から業務委託を受けている障がい児療育支援等事業がセンターの中に位置付けられ、今後ますます地域に関わる課題に対応していくことが期待されます。



公開講座 年間予定



※詳細は各ページをご覧ください、未定の部分は決定次第、ホームページ等でお知らせいたします。

日程	講座名	詳細	申込み受付期間										
			7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月			
9/16 (土) 10/28 (土) 11/11 (土)	第11回 白梅子ども学講座 子ども学におけるメディア論 ー子どもの発達と環境の視点から	4 ページ		8/7 (月)			11/10 (金)						
10/12 (木) 11/9 (木) 12/12 (火)	発達・教育相談室 支援者のための研修会 豊かなアセスメントを通して子どもへの支援を探る	5 ページ		8/7 (月)						12/11 (月)			
10/29 (日)	発達臨床心理セミナー 2017 被害体験からの主体の回復： 幼児期から思春期の子ども支援のあり方	6 ページ		8/7 (月)			10/28 (土)						
12/3 (日)	第23回 白梅保育セミナー いま 保育に問われていること ー保育内容の再検討ー新指針・要領をふまえて	7 ページ		8/7 (月)						12/2 (土)			
2018年 2/26 (月) 2/27 (火) 2/28 (水)	教育支援人材認証制度 こどもサポーター認証講座 ※文部科学省平成20年度「戦略的連携支援事業」から生まれた学びの認証制度です こどもサポーター（こころ支援）認証講座	8 ページ		8/7 (月)									2/24 (土)

※申込書は13ページについています。各開催日前日までに申込みいただきますようお願いいたします。

2017年度 白梅保育・子ども学研修講座
 これからの**保育**とは ー就学前の教育・保育の質をどう担保すべきか考えるー

【3会場共通内容】 講演Ⅰと講演Ⅱの間に各会場の企画が入ります

講演Ⅰ 「幼稚園教育要領と認定こども園教育・保育要領の改訂のポイント」
 無藤 隆 白梅学園大学大学院子ども学研究科特任教授・白梅学園大学子ども学部名誉教授

講演Ⅱ 「保育所保育指針の改訂のポイント～これからの幼児教育～」
 汐見 稔幸 白梅学園大学・白梅学園短期大学学長・白梅学園大学附属白梅幼稚園園長

静岡会場・・・7/17 (祝) 静岡県コンベンションセンター
 新潟会場・・・7/20 (日) 朱鷺メッセ：新潟コンベンションセンター
 仙台会場・・・8/6 (日) 仙台国際センター

浜松会場 追加開催決定！ 詳細は決定次第、ホームページでお知らせします。
 12/16 (土) 13:00～16:00 アクトシティ浜松 コンgressセンター

◆卒業生対象講座 (白梅祭の2日目に開催いたします。)
 10/22 (日) 13:30～15:00
第16回 白梅介護福祉セミナー 「共生型サービスについて」

◆協賛講座
世代間交流コーディネーター基礎講座 (主催 特定非営利活動法人日本世代間交流協会)
 実施日：8/25 (金) 9:00～15:30 ・ 8/26 (土) 10:30～19:30
 実施場所：社会福祉法人「江東園」(東京都江戸川区江戸川1-46)
 ※詳細は、18ページをご覧ください。

第11回 白梅子ども学講座

日時：9月16日(土)・10月28日(土)・11月11日(土)

13:00～16:00 ※10月28日は14:30～17:00となります

会場：白梅学園大学

対象：保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、学童保育員、教育関係者の方

受講料：1回 2,000円 (全3回申込み 6,000円) ★受講料割引(10%割引)適用講座

定員：各回100名(定員になり次第、締め切ります)

子ども学におけるメディア論 —子どもの発達と環境の視点から

◆9月16日(土) 13:00～16:00

「メディア漬けで壊れる子どもたち ～スマホ社会の落とし穴：その1～」

清川 輝基 特定非営利活動法人子どもとメディア代表理事

テレビが社会に登場して60年が経ち、今では、様々な情報を短時間で手に入れることができます。一方で、子ども達はメディアを欲し、更には追われる日々を過ごしています。メディア漬けで人間性を失ってしまう問題について話を聞きます。

◆10月28日(土) 14:30～17:00

「乳幼児の育ちに必要なこと ～スマホ社会の落とし穴：その2～」

内海 裕美 公益社団法人日本小児科医会常任理事(子どもとメディア委員会担当)

最近、泣き止まない子どもたちにスマホを渡して、あやしったり、子守をしったりしている場面に会った体験はありませんか？メディアを視野に、乳幼児の育ちに必要なことを小児科医の立場から提言していただきます。

◆11月11日(土) 13:00～16:00

「児童・生徒・保護者への啓発授業 ～問題を共有し、取り組みの意欲を高めるには～」

成田 弘子 白梅学園大学非常勤講師

テレビ等のメディアが持つ意味や問題について、小学校現場と大学での体験を踏まえて、どう伝えればよいのか、実践的な視点から話をしてもらいます。

まとめ「大学としてソーシャルメディアの問題にどう対処するか」

安倍 大輔 白梅学園大学子ども学科准教授

ソーシャルメディアの問題は大学としても取り上げなければなりません。とりわけ卒業後に保育・教育・福祉の現場で働くことを目指している学生を養成している大学として、緊急の課題です。どう対応するのかその方向性について話をしてもらいます。

2017年度 支援者のための研修会

日時：10月12日(木)・11月9日(木)・12月12日(火)

18:30～20:30

会場：白梅学園大学

対象：保育者・教員・その他支援者

受講料：1回 1,000円 (全3回申込み 3,000円) ★受講料割引適用講座ではありません

定員：各回120名(定員になり次第、締め切ります)

豊かなアセスメントを通して 子どもへの支援を探る

保育や教育の現場では、発達障害をはじめとした気になる子どもの問題があげられています。そういった子どもたちを支援するためには、子どもをどう理解し、どう支援の方針を立てていくのか、たえず子どもの状態をアセスメントし続けることが必須になります。今回の研修では、子どもを理解するためのさまざまな視点を学び、改めて授業場面や遊びの場面、そして検査などを通して、どのように子どもを理解するのか、子どものニーズをどうようにくみ取っていくのかを一緒に考えていきたいと思ひます。

◆10月12日(木) 18:30～20:30

「幼保小の支援をつなぐアセスメント ～幼児期・学童期初期を中心に～」

飯野 雄大 白梅学園大学特任講師

保育所・幼稚園などの姿やその先にある小学校1,2年生ぐらまでの姿をどのように理解するのか考えます。就学相談など移行期のアセスメントなどを紹介しながら、幼児期の遊びや人間関係が小学校以降のどのようにつながっていくのかをアセスメントという視点から考えたいと思ひます。

◆11月9日(木) 18:30～20:30

「子どもの自己理解につながるアセスメント ～学童期中期以降を中心に～」

市川 奈緒子 白梅学園大学准教授

学童期中期になると、子どもたちは他の子どもと自分を比較したり、自分の苦手なことを気にしたりしていきます。その中でアセスメントや支援をしていく上でも本人の理解が必要になります。子ども自身が自分のことをどのように理解していくのか、学習の方法を振り返ったり、他者との関係を振り返ったりするなど、当事者の参加を踏まえたアセスメントのあり方を考えたいと思ひます。

◆12月12日(火) 18:30～20:30

「現場の支援者に学ぶシンポジウム」

保育園の先生、小・中学校の通級学級の先生方にご登壇いただき、パネルディスカッションの形でそれぞれの、現場でのアセスメントについてひとり20分ほどずつ報告していただきます。その後、飯野・市川も交えて、会場の参加者の疑問や意見ももらいながら、支援のためのアセスメントのあり方について深めていきます。

発達臨床心理セミナー 2017

日時：10月29日(日)

13:00~16:30

会場：新宿NSビル NS会議室3-J

対象：幼児期から思春期の子どもに関わる大人(保護者、教員、臨床現場の方等)

受講料：2,000円 ★受講料割引(10%割引)適用講座

定員：90名(定員になり次第、締め切ります)

被害体験からの主体の回復： 幼児期から思春期の子どもへの支援のあり方

◆講演1 「『女の子』の支援を考えるー若草プロジェクトから」

村木 厚子 若草プロジェクト代表呼びかけ人

津田塾大学総合政策学部 客員教授

瀬戸内寂聴さんや村木厚子さんたちが呼びかけ人となって発足した、少女や若い女性を支援するための「若草プロジェクト」があります。子どもの貧困、虐待などを背景として「若草プロジェクト」が始まった背景や活動の内容についてお話頂き、私たちはその現代的課題に何ができるのかを考えます。

◆講演2 「児童虐待の影響と親子への支援」

伊東 ゆたか 帝京大学精神神経科 病院教授

児童相談所における勤務の経験から、虐待の子どもへの影響とその支援についてお話頂きます。年少時に虐待・ネグレクトという強いストレスを受けると、その後の成長と社会適応に大きく影響します。しかし、いち早く気づき支援することで予後は変わります。私たち大人がどのように子どもそして家族を支援できるのかを考えます。

◆講演3 「少年の健全育成と非行防止について」

芹田 卓身 埼玉県警察少年サポートセンター 課長補佐

非行の背景には様々な要因があります。少年サポートセンターで思春期の子どもたちと実際に関わっている立場から、非行、虐待、いじめ等少年問題の現状、実際に取り組まれている支援についてお話頂き、具体的支援のあり方について考えます。

◆ディスカッション 「被害体験からの回復をどう支援するか」

企画：西園マーハ文(白梅学園大学教授/精神科医) 堀江まゆみ(白梅学園大学教授/臨床発達心理士)

小保方晶子(白梅学園大学准教授/臨床心理士)

主催 白梅学園大学・白梅学園短期大学 地域交流研究センター

後援 若草プロジェクト

第23回 白梅保育セミナー

日時：12月3日(日)

10:00~16:00

会場：白梅学園大学

対象：保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、学童保育員、教育関係者の方

受講料：3,000円 ★受講料割引(10%割引)適用講座

定員：150名(定員になり次第、締め切ります)

いま 保育に問われていること ー保育内容の再検討ー 指針・要領をふまえて

◆講演1 「『保育指針』『教育要領』をめぐって養成校と実践現場で考えたいこと」

汐見 稔幸 白梅学園大学・白梅学園短期大学学長、白梅学園大学附属白梅幼稚園園長

保育指針作成に関わった委員(長)としてどのような狙いで新しい指針ができてきたのか、また幼稚園の教育要領とどう関連付けられているのか、等をふまえて養成校や実践現場の保育者に望むことを提起してもらい、これからの保育を創造する力になればと思います。

◆講演2 「『保育指針』『教育要領』の課題を考える」

大宮 勇雄 福島大学教授

あらたな『保育指針』『教育要領』ですが、前進的な面もあれば課題もあります。課題を明らかにする中で今後の在り方についての道筋が見えてくると思います。保育園、幼稚園、小学校、あるいは学童保育(放課後子どもクラブ)等の現場で子どもたちに直接対応している人々には聞いていただきたい。

◆講演3 「新指針を踏まえて保育をどう創造するか」

島本 一男 諏訪保育園園長

保育指針が改訂され、保育の現場にはまた新たな課題が提示されます。子どもたちの未来をひらくために現場ではどのような保育が求められているのか、保育園の立場から創造の視点を提示してもらいます。

◆まとめ 「新指針・要領と保育運営・実践でめざしたいこと」

近藤 幹生 白梅学園大学教授

3つの講演を受けて、新しい『保育指針』や『教育要領』を踏まえて、保育の現場ではその運営をどのようにしていかなければならないのか、子ども達とどのように関わらなければいけないのか、子どもの視点に立って整理してもらいます。

主催 白梅学園大学・白梅学園短期大学 地域交流研究センター

後援 東京都民間保育園協会 小平市社会福祉協議会 小平市私立幼稚園協会

白梅学園大学・白梅学園短期大学同窓会 白梅学園大学・白梅学園短期大学後援会

ことばサポーター（こころ支援）認証講座

日時：2018年2月26日（月） 9：50～15：40 ・ 2月27日（火） 13：00～16：10

2月28日（水） 10：40～16：10

会場：白梅学園大学

対象：教育、福祉、子どもに関心のある方、子ども支援について学びを深めたい方

受講料：5,000円（認証を申請される方は、別途認証申請料がかかります） ★受講料割引適用講座ではありません

定員：50名（定員になり次第、締め切ります）

不登校やひきこもりが大きな問題になって子どもや青年たちのこころが見えないといわれてから久しくなります。制度的にはいくつか改善がなされてきましたが、状況は悪化するばかりです。近年は仕事を途中でやめてしまってひきこもる大人たちも増えています。こうした心の問題をどのようにとらえたいのでしょうか。今回の講座では子どもをめぐる状況と子どもや青年の心の理解、そして不登校やひきこもりの現状と対策について専門的な立場から話をさせていただきます。

本講座受講後に一般社団法人教育支援人材認証協会の「こどもパートナー」「こどもサポーター（こころ支援）」の認証に申請（有料）できます。

■認証申請料

こどもパートナー 2,000円

こどもサポーター 4,000円（こどもパートナー 2,000円を含む）

ことばサポーターとは

4

時間

+

8

時間

教育支援人材の認証には、基礎的な「こどもパートナー」（「こどもに関わり合う力」を身につけることを目標とする認証）と、パートナーを踏まえて取得できる「こどもサポーター」があります。「こどもサポーター」は各自が関心のある分野、あるいは得意とする分野での支援（サポート）のために、「こどもの理解」や「教育指導者とは」などの研修を通して、こどもとの接し方を身につけることを目標とする認証です。

■標準履修時間：4時間（パートナー）+8時間以上（各専門領域）=720分以上の講義
または

パートナーを含む8コマ（4領域）以上=720分以上の講義

※詳細は「教育支援人材認証協会」ホームページをご覧ください。（<http://www.jactes.or.jp>）

「こどもパートナー」または「こどもサポーター（こころ支援）」の認証は、必修講座を全て受講することにより、申請、取得が可能になります。

パートナー認証	サポーター認証	2/26 (月)	講座領域	講座内容／講師
必修	必修	9:50 ～10:20	認証制度について	教育支援人材認証とは何か／瀧口 優
必修	必修	10:30 ～11:30	子どもの理解	子どもとは何か、子どもの発達権利と自立のあり方について等／増田 修治
必修	必修	11:40 ～12:40	子ども支援論	子どもの支援とは何か／瀧口 優
必修	必修	13:30 ～14:30	子どもを取り巻く環境の理解	少子化社会、メディア社会、多文化社会の中にある子どもの環境はどうなっているか等／成田 弘子
必修	必修	14:40 ～15:40	子どもとの接し方	子どもの発達と自立の理解の上にならって、どのように子どもと接していったらよいか等／成田 弘子
パートナー認証	サポーター認証	2/27 (火)	講座領域	講座内容／講師
	必修	13:00 ～14:30	「こどもサポーター（こころ支援）」における支援のあり方	不登校や引きこもりのこどもや青年に対してどのような支援が求められているのか／瀧口 優
	必修	14:40 ～16:10	こども・青年のこころの理解	こどもや青年のこころはどのように発達し現実社会の中でどのような影響を受けているのか／廣澤 満之
パートナー認証	サポーター認証	2/28 (水)	講座領域	講座内容／講師
	必修	10:40 ～12:10	子ども・青年に関する社会制度や法制度の理解	子どもや青年はどのような法律によって規定され、また何を保護されているのか／長谷川 俊雄
	必修	13:00 ～14:30	不登校・引きこもりとは何か	現代の課題となっている不登校や引きこもりはどのようなメカニズムで生じてくるのか／長谷川 俊雄
	必修	14:40 ～16:10	不登校・引きこもりへの対応	不登校や引きこもりに対して社会や大人はどのように対応すればよいか／長谷川 俊雄

🌸 キャンセルについて

お申込み後にキャンセルされる場合は、必ず公開講座担当までご連絡をお願いいたします。**各講座の受講日の3日前までに**キャンセルの連絡があった場合のみ、返金に関わる手数料を差し引いた金額を講座終了後に現金書留にて返金いたします。それ以降のキャンセル及び欠席については講座終了後に当日の資料を送付いたします。返金はいたしませんのでご了承ください。

🌸 個人情報の取り扱いについて

各種講座の申込みにより取得した個人情報につきましては、以下の目的にのみ使用いたします。

- ① 受講証の発行、受講者名簿の作成など公開講座の運営に関する業務
- ② 申込み内容の確認、講座変更のお知らせ、お問い合わせへの対応
- ③ 本学の各種事業のご案内送付（公開講座、講演会等）

🌸 受講料割引について

多くの卒業生の方に母校で学んでいただくために受講料の割引をいたします。申込み時に必要な情報をご申告ください。割引が適用されない講座もございますので、各講座の案内をご確認ください。

対象者	割引
学校法人白梅学園 現教職員 白梅学園大学、白梅学園大学大学院、白梅学園短期大学の在学学生	無 料
学校法人白梅学園 元教職員 白梅学園大学、白梅学園大学大学院、白梅学園短期大学の卒業生 白梅学園大学・白梅学園短期大学 地域交流研究センター 客員・嘱託研究員	10%割引

🌸 受講にあたっての注意事項

◆ 本学までの交通手段について

本学には一般車両用の駐車場はございません。公共交通機関または周辺の有料駐車場をご利用ください。

◆ 講座の中止について

受講生が一定の人数に満たない場合や天災及び交通事情など、やむを得ない理由で講座を中止することがあります。講座の中止が決定された際は申込者に連絡いたします。受講料は返金いたします。

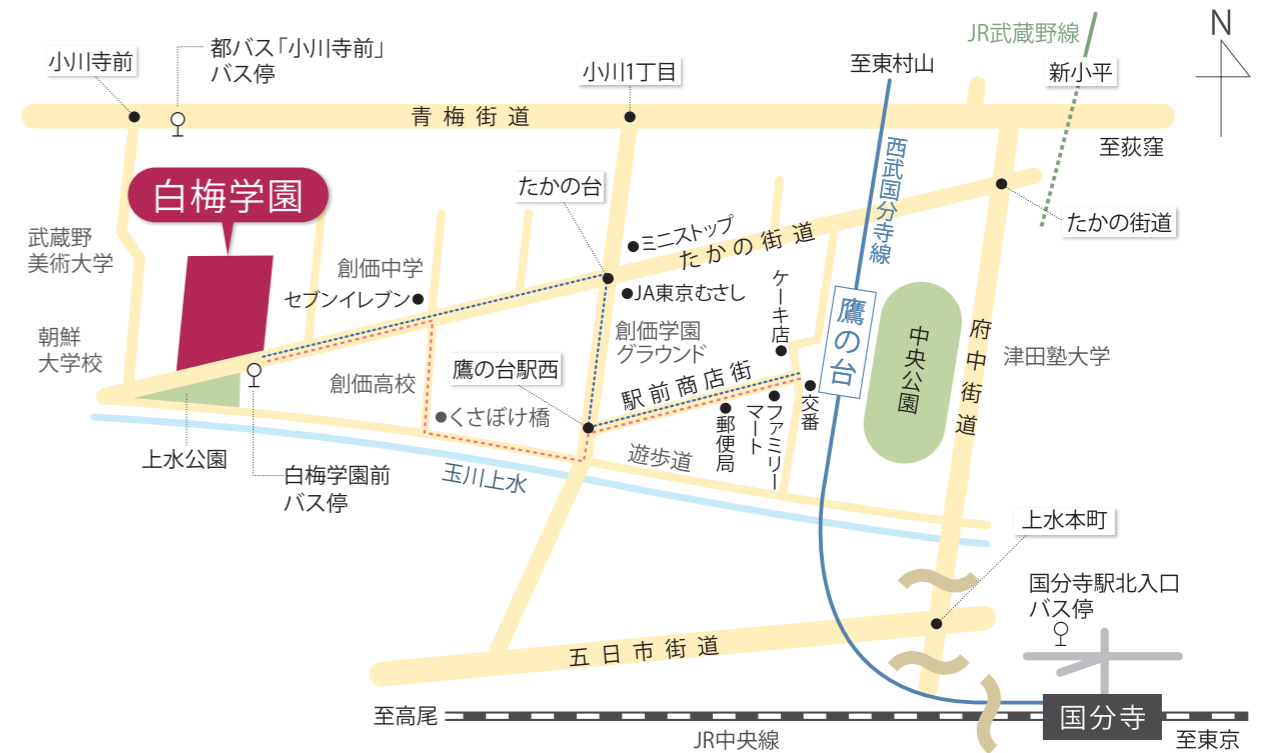
◆ 広報用の写真撮影について

講座の様子を写真撮影し、広報媒体に掲載する可能性がありますので、ご了承の上、申込みください。

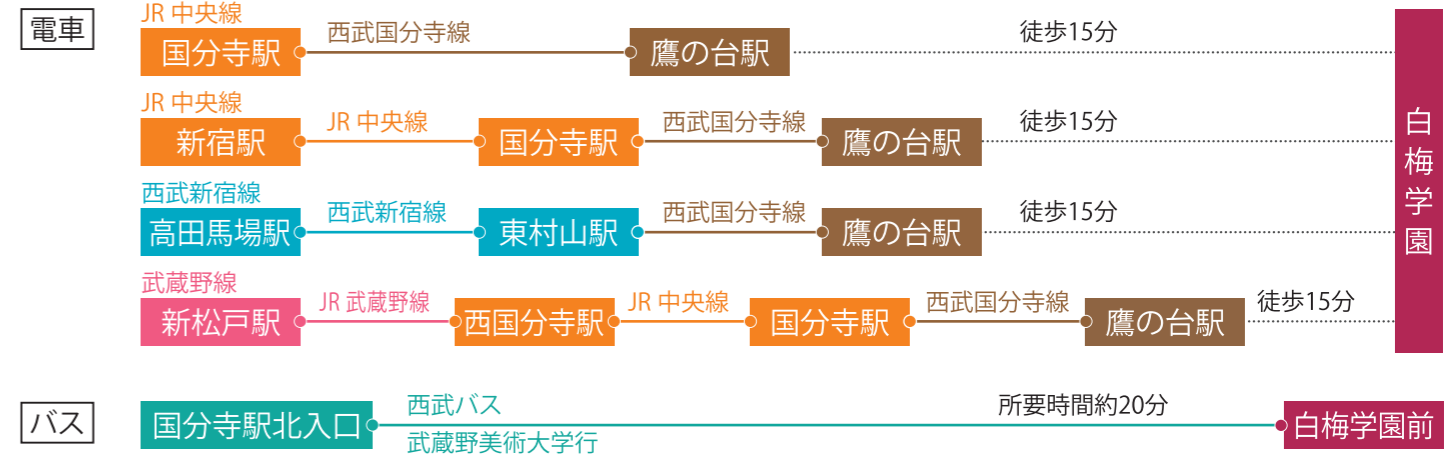
◆ その他

講師や他の受講生の迷惑となるような行為を行ったり、講座の進行を妨げるような言動及び行動を行ったりした場合は、受講をお断りする場合がございます。

学園周辺図



ACCESS



電車

- ・ JR 中央線「国分寺駅」で西武国分寺線（東村山行）に乗り換え「鷹の台駅」下車、徒歩 15 分
- ・ 西武新宿線「高田馬場駅」より「東村山駅」で西武国分寺線（国分寺行）に乗り換え「鷹の台駅」下車、徒歩 15 分

バス

- ・ 国分寺駅北入口から西武バス（武蔵野美術大学行）に乗り、「白梅学園前」下車 所要約 20 分



学内に受講生用の駐車場スペースはございません。公共交通機関をご利用ください。自転車は学内の駐輪場をご利用ください。

公開講座 申込み方法

申込み

必要事項を入力または記入の上、WEB または FAX、郵送にてお申込みください。
申込み開始日時：8月7日（月）

WEBサイトから申込み

白梅学園大学ホームページ（公開講座）
http://daigaku.shiraume.ac.jp/openlecture/
からお申込みください。



FAXで申込み

FAX番号
042-346-5652
に申込書をFAXしてください。

郵送で申込み

下記宛先に送付ください。
〒187-8570 東京都小平市小川町1-830
白梅学園大学・白梅学園短期大学
地域交流研究センター 公開講座係

振込み

申込み後、受講料を下記口座へお振込みください。
※送金者が受講者と異なる場合や2名以上まとめてのご送金の場合は、振込用紙の
通信欄に受講者名を明記のうえ、ご送金をお願いします。

ゆうちょ銀行口座番号 00130-3-623632
シラウメガクエンコウカイコウザ
加入者名 白梅学園公開講座

※ゆうちょ銀行以外の金融機関からのお振込みの場合

店名(店番) ○一九(ゼロイチキュウ)店(019)
預金種目 当座
口座番号 0623632

受講証
発送

申込書・入金の確認ができた方には受講証を発送します。
※各開催日の2週間前を目途に発送する予定です。

必要事項を入力または記入の上、以下の方法のいずれかからお申込みください。

WEBサイト (http://daigaku.shiraume.ac.jp/openlecture/)

FAX 042-346-5652

郵送 〒187-8570 東京都小平市小川町1-830
白梅学園大学・白梅学園短期大学 地域交流研究センター 公開講座係

受講申込み講座（希望する講座・日程の□にチェックを入れてください。）

- 第11回 白梅子ども学講座 9/16 (土) 10/28 (土) 11/11 (土)
- 発達・教育相談室 支援者のための研修会 10/12 (木) 11/9 (木) 12/12 (火)
- 発達臨床心理セミナー2017
- 第23回 白梅保育セミナー
- こどもサポーター（こころ支援）認証講座 こどもサポーター認証 2/26 (月)～28 (水)
- こどもパートナー認証 2/26 (月)

※太枠内をご記入ください

ふりがな				受講 No.
氏名				
自宅住所	〒 TEL FAX			
勤務先	名称(ふりがな)	職種	年数	年目
	〒 TEL FAX			
受講証等送り先（どちらかにチェックを入れてください）※不備等でチェックした先へ連絡する場合があります。				<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先
※緊急時連絡先 メールアドレス（ない方は日中連絡の取れる電話番号）のご記入をお願いします。 (注) 0123456789 - (ハイフン) _ (アンダーバー) などわかるようにご記入ください。				
e-mail:				
白梅学園 とご関係	1. 学校法人白梅学園現教職員、白梅学園大学・大学院・短期大学在學生（学籍番号_____） 2. 白梅学園大学・大学院・短期大学卒業生 西暦_____年度卒業（学科_____） 3. 学校法人白梅学園元教職員 4. その他/特になし			

*大学使用欄
(記入不要)

受領印	受講証発送	備考

必要事項を入力または記入の上、以下の方法のいずれかからお申込みください。

WEBサイト (http://daigaku.shiraume.ac.jp/openlecture/)

FAX 042-346-5652

郵送 〒187-8570 東京都小平市小川町 1-830

白梅学園大学・白梅学園短期大学 地域交流研究センター 公開講座係

受講申込み講座 (希望する講座・日程の□にチェックを入れてください。)

第11回 白梅子ども学講座 9/16 (土) 10/28 (土) 11/11 (土)

発達・教育相談室 支援者のための研修会 10/12 (木) 11/9 (木) 12/12 (火)

発達臨床心理セミナー 2017

第23回 白梅保育セミナー

こどもサポーター (こころ支援) 認証講座 こどもサポーター認証 2/26 (月) ~ 28 (水)

こどもパートナー認証 2/26 (月)

※太枠内をご記入ください

ふりがな				受講 No.
氏名				
自宅住所	〒		TEL	
			FAX	
勤務先	名称(ふりがな)	職種	年数	
			年目	
	〒		TEL	
			FAX	
受講証等送り先 (どちらかにチェックを入れてください) ※不備等でチェックした先へ連絡する場合があります。				<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先
<p>※緊急時連絡先 メールアドレス (ない方は日中連絡の取れる電話番号) のご記入をお願いします。 (注) 0123456789 - (ハイフン) _ (アンダーバー) などわかるようにご記入ください。</p>				
e-mail:				
白梅学園 との関係	1. 学校法人白梅学園現教職員、白梅学園大学・大学院・短期大学在學生 (学籍番号 _____) 2. 白梅学園大学・大学院・短期大学卒業生 西暦 _____ 年度卒業 (学科 _____) 3. 学校法人白梅学園元教職員 4. その他/特になし			

*大学使用欄
(記入不要)

受領印	受講証発送	備考

必要事項を入力または記入の上、以下の方法のいずれかからお申込みください。

WEBサイト (http://daigaku.shiraume.ac.jp/openlecture/)

FAX 042-346-5652

郵送 〒187-8570 東京都小平市小川町 1-830

白梅学園大学・白梅学園短期大学 地域交流研究センター 公開講座係

受講申込み講座 (希望する講座・日程の□にチェックを入れてください。)

第11回 白梅子ども学講座 9/16 (土) 10/28 (土) 11/11 (土)

発達・教育相談室 支援者のための研修会 10/12 (木) 11/9 (木) 12/12 (火)

発達臨床心理セミナー 2017

第23回 白梅保育セミナー

こどもサポーター (こころ支援) 認証講座 こどもサポーター認証 2/26 (月) ~ 28 (水)

こどもパートナー認証 2/26 (月)

※太枠内をご記入ください

ふりがな				受講 No.
氏名				
自宅住所	〒			TEL
				FAX
勤務先	名称(ふりがな)	職種	年数	
			年目	
	〒			TEL
				FAX
受講証等送り先 (どちらかにチェックを入れてください) ※不備等でチェックした先へ連絡する場合があります。				<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先
<p>※緊急時連絡先 メールアドレス (ない方は日中連絡の取れる電話番号) のご記入をお願いします。 (注) 0123456789 - (ハイフン) _ (アンダーバー) などわかるようにご記入ください。</p>				
e-mail:				
白梅学園 との関係	1. 学校法人白梅学園現教職員、白梅学園大学・大学院・短期大学在學生 (学籍番号 _____) 2. 白梅学園大学・大学院・短期大学卒業生 西暦 _____ 年度卒業 (学科 _____) 3. 学校法人白梅学園元教職員 4. その他/特になし			

*大学使用欄
(記入不要)

受領印	受講証発送	備考

世代間交流コーディネーター基礎講座

あなたは職場や地域で、世代の異なる方々と、よりよく交流していらっしゃいますか？ほんの少しの支えでそれぞれの良さが発揮しあえるのにと、残念に思われたことはありませんか？そこをつなぐ役割が世代間交流コーディネーターです。

この講座はコーディネーターをするのに必要な資質や技術を身につけることをめざし、世代間交流コーディネーターの基礎力を養成するものです。あなたもぜひ参加してみませんか。

少子・高齢社会における多世代の共存・協働する社会や地域のあり方を共に考えていきましょう。

今、日本社会をみてみますと際だった特徴の一つは、他のどの国よりも急速に少子高齢化が進んでいることです。

年金、医療、介護システムの破綻といったネガティブな見方ではなく、子ども・青年・高齢者・中年が地域で活発に社会活動に参加し、交流をはかることが大切です。人と人との関係を再構築し、女性・子どもだけの地域社会から、全ての世代が参画し、現代社会が抱えている諸問題を解決する足がかりを作ることは現代社会のニーズです。このようなニーズを解決するためには、子ども・青年・高齢者・中年を結びつける世代間交流コーディネーターの存在が重要となります。

実習では、参加することで実際に世代間交流の現場を体験していただきます。そして問題意識を明確にします。これをふまえてこの分野の専門家による講義と呼応させます。特定非営利活動法人日本世代間交流協会から「世代間交流コーディネーター」基礎講座修了証を授与いたします。

◆講座日程・受講場所

1日目（実習）：平成29年8月25日（金）9：00～15：30

2日目（講義）：平成29年8月26日（土）10：30～19：30

場所：東京都江戸川区 社会福祉法人「江東園」



◆受講対象

- ・保育、幼児教育および児童福祉など、子どもの文化や教育に関する分野を専門とする学生。
- ・高齢者や、障害者の介護に関する分野を専門とする学生。
- ・高齢者および高齢者福祉など、高齢者の生活や介護に関わっている方。
- ・子育て支援活動を主催としている地方自治体の担当者、子育てサークルに関わっている方。
- ・高齢者本人、高齢者のいる家族の方ほか。
- ・高齢者の活動を主催している地方自治体の担当者、高齢者団体に関わっている方。

◆申し込み締め切り **平成29年8月18日**

◆定員 50名

◆受講料 一般 10,000円 学生 5,000円
(修了証発行手数料、資料代、材料費、保険を含む)

◆講師

草野 篤子 前日本世代間交流協会会長、白梅学園大学名誉教授

金田 利子 日本世代間交流協会副会長、東京国際福祉専門学校専任教員

多湖 光宗 日本世代間交流協会理事、社会福祉法人自律共生会理事長

安永 正史 日本世代間交流協会理事、東京都健康長寿医療センター研究所研究員

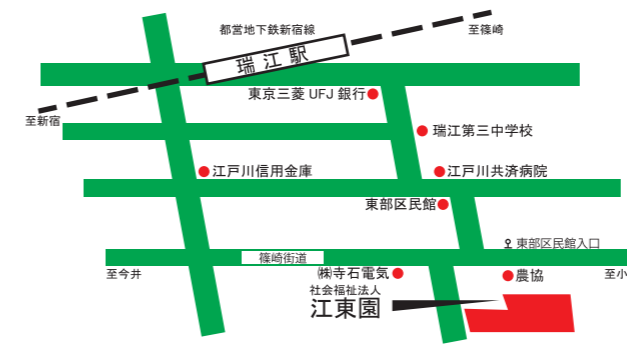
杉 啓以子 日本世代間交流協会会長、社会福祉法人江東園経営企画管理室本部長



主催：特定非営利活動法人日本世代間交流協会（Japan Intergenerational Unity Association:JIUA）
協賛：白梅学園大学・白梅学園短期大学 地域交流研究センター

◆受講場所

社会福祉法人「江東園」 住所：東京都江戸川区江戸川1丁目46番地



- 都営地下鉄新宿線「瑞江駅」下車 徒歩8分
- 京成バス 江戸川スポーツランド行（所要約11分）
「南行徳駅」→「東部区民館 入口」下車 徒歩3分
- 京成バスは瑞江駅行（所要約25分）
「小岩駅」→「東部区民館入口」下車 徒歩3分
- 京成バス 瑞江駅行（所要約35分）
「新小岩駅」→「東部区民館入口」下車 徒歩3分

◆持ち物 受講票、昼食、上履き、筆記用具

◆講義内容

1. 世代間交流とは何か 一世代をつなぎ地域を再生するー
2. 人間発達と世代間交流
3. 世代間交流と相互互惠性の育成 ー 幼老統合施設の実践からー
4. 世代間交流コーディネーター基礎講座修了式

■受講申し込み方法

下記申込書をメールまたはFAXにてお送りください。

●申込先・問い合わせ先

〒132-0013 東京都江戸川区江戸川1-46

社会福祉法人 江東園内

特定非営利活動法人 日本世代間交流協会

TEL 03-3677-4611 FAX 03-3677-4655

e-mail tomokazu-inoue@kotoen.or.jp

●振込方法 申込みと同時に受講料を下記までお振り込み下さい。お申込書とお振込が確認でき次第、受講証をお送りします。

東日本銀行 瑞江支店 口座番号（普） 267042
特定非営利活動法人 日本世代間交流協会 理事 杉 啓以子



世代間交流コーディネーター基礎講座（2017年度）受講申込書

ふりがな			年齢	申し込み 年 月 日
氏名			歳	
住所	(〒 -)		TEL	FAX
勤務先名				
勤務先住所	(〒 -)		TEL	FAX
			職名 ()	
どちらかに○をしてください		※ 一般 (10,000円)		※ 学生 (5,000円)

お知らせ頂いた住所、氏名、電話番号、その他個人に関する情報は、公開講座、受講証・関係資料等の送付、講座におけるご連絡のみ利用させていただきます。それ以外の目的で利用することはありません。

問い合わせ

白梅学園大学・白梅学園短期大学 地域交流研究センター 公開講座係

〒187-8570 東京都小平市小川町1-830

TEL 042-313-5990 FAX 042-346-5652

Mail kouza@shiraume.ac.jp

URL <http://daigaku.ac.jp/openlecture/>

開室時間 平日 9:00~17:00 土曜日 9:00~13:00

※8月の平日は16:00までとなります。長期休暇中（8~9月）の閉室日はHPでご確認ください。